緊急対策情報

牧草の冬枯れ対策

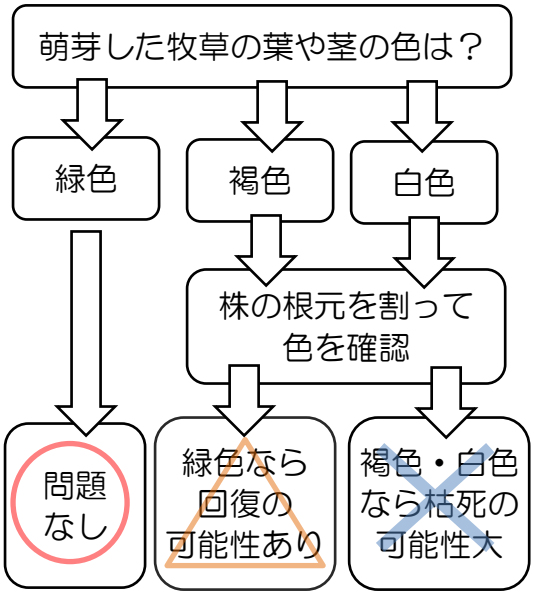
宗谷農業改良普及センター

もしかして冬枯れ!? と心配になったら…

1 草地がうっすら青くなり始めた(萌芽)頃、ほ場を確認し、冬枯れの状況に応じた対応を計画しましょう
2 新播草地、特に晩夏に播種したほ場では、発生の危険性が高いので優先的に確認しましょう
3 冬枯れの判断は、牧草の茎数 600～800 本/㎡以下(10 ㎝角内に6～8本以下)が目安になります

STEP１.冬枯れの状況を確認

萌芽した牧草の葉や茎の状態を確認する



冬枯れの種類

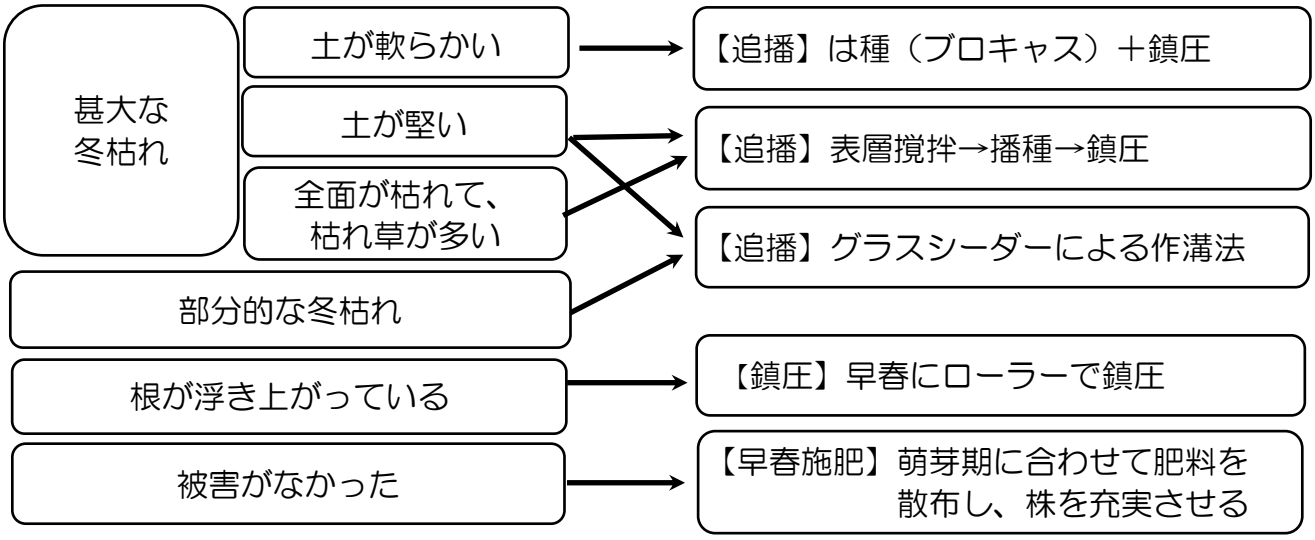
○雪腐病
宗谷管内の冬枯れの主な要因。
菌核病により、牧草が地面に張り付いたようになり、黒い粒状の菌核が付着。

○凍害
低温により、細胞が凍結・破壊

○アイスシート
滞水などにより、牧草が氷に覆われ窒息

※管内では凍害やアイスシートによる冬枯れの被害は少ない

STEP２.冬枯れ対策



作業の計画と資材調達の準備はお早めに
作業の際は、事故防止に努めましょう

■お問い合わせ
宗谷農業改良普及センター本所（中頓別町 TEL01634-6-1414） 支所（豊富町：TEL0162-82-2119）